

# 桜川文芸

## 俳句

【桜川市「萩」岩瀬俳句会】

癒ゆる日を信じて花の種を蒔く

鈴木たか子

飛花舞ひ来わが七十の朝の風呂

小林 啓治

予後の身の足もとにある路のとう

小林 フク

老いてなほ夢ひとつあり迎春花

三代みちよ

夫婦の座ふたりで守りさくら咲く

入山ひろ子

只今の声裏戸まで桜咲く

渡辺 いし

【茂山俳句会】

老いまじく心ひたすら青き踏む

田崎 信子

鬼の歯で大根削る里料理

泉 健作

降り出しも終りも知らず春の雨

海老沢幸子

一言を添へて雛を納めけり

井坂 洋子

真っ青な空が波打つ鯉のぼり

鈴木ノブ子

囀りに鎮守の森もふくらめり

鶴見 菊江

そこはかと青みし芝の息づかひ

松崎 いま

春の雪広き老舗の紺のれん

植田 祥雲

春シヨール出しては戻し旅支度

安蔵久美子

キャンパスの空に遊べる春の雲

宮本 芳江

廃鉢の煙突高し飛花落花

萩原 信一

鯉のぼり幼き頃のかくれんぼ

向後 礼子

生前の面影偲ぶ初彼岸

大関 くに

竹箒寝かせてありし春嵐

吉原 秀子

卒業歌やをら取り出す写真集

関根 幸子

世の中をぼやいてみせて苗木売る

飯山 昭

## 短歌

【真壁短歌会】

頬を刺す体感マイナス三十度

吹雪く阿寒湖人寄せつげず

岡村 次雄

一夜漬の水菜を食卓に出したればしゃやしやき  
しゃきしてうましと夫の食すすむ

塚本とよ子

早春の一日吹きにし強風止みて

山の端出でし月冴えわたる

渡辺ハルエ

家族みなけんちん蕎麦が大好きにて

凍夜は殊に身体あたたむ

根本 英子

【一般投稿】

携帯のすだれの向うで息弾む

華やく春の喜びの声

大山 しげ

厨ごと常にはなさぬ夫なるに

手際よきかな祭りの焼きそば

芝 せつこ

## 俚謡

【さくら俚謡会】

嬬子分でよいしよで過ぎて

来世どうするおぼろ月

稲葉 建正

強いる減反農家を泣かせ

米は輸入で田は昼寝

田 哲人

泳ぐ鯉ありや言葉はいらぬ

家督安泰日本一

つく志輝美

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ